

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0401	政策名	地域主体のまちづくり	施策主管課	地域づくり課	課長名	鈴木 淳子
政策の目指す姿	個性あふれる地域づくりが活発に行われています						
施策No	01	施策名	地域づくりへの参加促進	関係課名	定住推進課、商工労政課、各支所地域振興課		
施策の目指す姿	老若男女多くの住民が地域づくりに参加しています						
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人々の価値観やライフスタイルの多様化が見られる中、相互扶助意識の希薄化などによる地域づくり活動への影響が懸念されています。</li> <li>少子高齢化による人口減少が進み、地域づくりの担い手が不足し、地域づくり活動維持への影響が表れている地域があります。</li> <li>地域づくりの活動拠点である振興センターは、市民の自主的な地域活動や生涯学習の場として多くの市民に利用されています。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり活動への参加促進に向けた意識の醸成が必要となっています。</li> <li>地域づくり活動の維持や担い手を確保するため、若者や女性の地域づくりへの参画を促進するほか、市への定住推進、市外からの移住促進を図る必要があります。</li> <li>振興センター等の長寿命化を図るため、計画的に改修をしていく必要があります。</li> </ul>							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動の拠点である振興センターについて、公共施設マネジメント計画に基づき必要な長寿命化を実施し、市民が利用しやすい施設となるよう改修を進めていく。</li> <li>移住コーディネーターを配置し、花巻市に興味をもってもらえるよう工夫した情報発信を行うとともに、子育て支援情報に特化した子育てアプリの新規導入を行う。</li> <li>地域おこし協力隊の募集については、事前に地元住民等の関係性を構築しながら募集へと繋げる採用方法を継続して行う。</li> <li>結婚新生活支援事業を継続して行うとともに、前年度において補助限度額に達しなかった世帯への支援を行う。</li> <li>市民憲章の市民への浸透を図るため、市民憲章推進協議会の事業について広報はなまき等を通し情報提供を行い、広く市民に周知する。</li> <li>コミュニティ助成事業への申請を促すため、自治公民館整備事業補助金制度を周知する機会などを活用するほか、自治会等にコミュニティ助成事業の活用事例を紹介し、申請の推奨、申請支援を行っている。</li> <li>若者が空き家バンクを利用した場合の改修費用及び空き家住宅取得奨励金においては、若者世代から移住者への支援の拡大を行う。</li> </ul>

反映状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり活動の拠点施設である振興センターの利便性及び安全性の向上と長寿命化改修を実施、施設利用の促進を図った。</li> <li>移住コーディネーターを配置し、「いわて暮らし」に関する情報発信(インスタグラム)や地方移住マッチングサイト「スマウト」から情報発信を行った。</li> <li>地域おこし協力隊の募集については、オンライン上で対話を重ね、関係性を構築しながらの採用方法を継続して行った。</li> <li>結婚新生活支援事業を継続して行い、前年度より交付件数を増やすことができた。</li> <li>市民憲章の市民への浸透を図るため、広報はなまき等で情報提供を行い、市民憲章運動の普及と啓発を図った。</li> <li>地域活動拠点施設の整備や地域活動を支援するため、広報はなまきや市ホームページで、コミュニティ助成制度及び自治公民館整備事業補助金制度について周知し、申請の推奨、申請支援を行った結果、コミュニティ助成事業申請6団体、採択3団体、自治公民館整備事業補助金交付団体9団体となった。</li> <li>若者が空き家バンクに登録されている物件を取得した場合の奨励金等について、県外からの移住者も対象とし支援の拡大を行った。</li> </ul>
---

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 地域づくり活動への参加促進に向けた意識づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若者や女性など市民みんなが地域づくりに参画できる仕組みづくりへの支援</li> <li>中間支援組織によるコミュニティ会議へのサポート</li> <li>地域自治推進委員会及び地域協議会の開催</li> <li>市民憲章推進協議会への活動支援</li> <li>在京花巻人会への運営支援</li> <li>各行政区に対する地区運営交付金の交付</li> <li>(一財)自治総合センターのコミュニティ助成事業活用による支援</li> </ul> <p>(2) 身近な地域コミュニティの活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振興センターの改修整備</li> <li>振興センター等の安全確保、利便性を図るための所要の整備</li> <li>自治公民館等の整備改修支援</li> <li>自治公民館改修等への支援</li> </ul> <p>(3) 定住・交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市外からの移住希望者や市内子育て世帯等の移住定住の促進と環境等整備</li> <li>移住者等の住宅取得等の補助及び専用サイトによる情報発信</li> <li>市民と移住希望者の交流の創出</li> <li>移住定住ガイドブック「花巻ひと図鑑」により移住された方の体験等の情報発信</li> <li>地域課題の解決に向けた地域外人材の誘致と定住、関係人口化</li> <li>総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、地域課題の解決と任期後に向けたサポート</li> <li>シティプロモーションによる移住先としての認知度向上</li> <li>シティプロモーションサイト「まきまき花巻」を通じた市の魅力発信</li> <li>地域団体等と連携した広域的な婚活支援</li> <li>婚活支援団体の育成と結婚新生活に対する支援</li> </ul>	
---	--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
振興センター利用人数	地域活動の拠点施設としている振興センターをどれぐらいの人が利用し、活動したかを測る指標として設定する。地域づくりの拠点施設である振興センターを利用して、個性あふれる活動が活発に行われていることを示す指標。	27振興センターの利用人数を集計する。	千人	目標値		300.00	300.00	300.00	300.00	
				実績値		84.00	95.00	148.00		
市民一人あたり振興センター利用回数	地域活動の拠点施設としている振興センターをどれぐらいの人が利用し、活動したかを測る指標として設定する。人口減少が進んでいることから、延べ利用人数に加え、市民一人当たり利用回数を指標として設定する。地域づくりの拠点施設である振興センターを利用して、個性あふれる活動が活発に行われていることを示す指標。	27振興センターの年間延べ利用人数を人口で除して、市民一人当たり利用回数を算出する。	回	目標値		3.10	3.10	3.10	3.10	
				実績値		0.90	1.02	1.61		
国・県・市の制度を活用した移住者数	移住の定義はあいまいであり、必ずしも転入者＝移住者とは限らない。市として総合戦略を策定し、KPIとして同様の数値を掲げていることから新たに成果指標とするもの。	市定住推進課が把握する①地域おこし協力隊②定住促進住宅取得補助金③空き家バンク、市農政課が把握する④新規就農者支援補助金、市商工労政課が把握する⑤UIJターナー者就業奨励金、市建築住宅課が把握する⑥定住促進住宅の制度支援を受けて移住した者の合計値	人	目標値		48.00	48.00	48.00	48.00	
				実績値		61.00	52.00	103.00		

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>■成果指標「振興センター利用人数」・・・【達成度 c】</p> <p>■成果指標「市民一人あたり振興センター利用回数」・・・【達成度 c】</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による市関連施設の利用制限が緩和され、地域団体の各行事、サークル活動等が徐々に再開されたことにより利用人数は前年度より56%程度上回り、5万3千人以上増加したが、新型コロナウイルス感染症は感染症法上2類に分類されたままで活動の自粛傾向が続いていたこともあり、目標値を大幅に下回った。「この1年間に地域の活動に参加した市民の割合」(まちづくり市民アンケート)では子ども会やPTA活動、清掃・環境活動、祭りやイベント等何らかの地域づくり活動に参加した市民の割合は71.5%であった。男女比は前述の活動では女性が多く、消防団、防犯、伝統文化保存活動、コミュニティ会議の活動については男性が多かった。地域内ボランティア活動においては男女に大きな差はなかったが、参加者の年代は50才から70才以上が多く、15才から49才の世代では地域内ボランティア活動への参加者は少ない傾向が見られた。</p> <p>■成果指標「国・県・市の制度を活用した移住者数」・・・【達成度 a】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方への移住ニーズが高まっており、移住相談件数は、昨年度実績より約100件増加している。また、制度を活用した子育て世帯が増加していることが要因と考えられる。</li> </ul>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>(振興センター等整備事業) 振興センター等の老朽化が進んでいることから、利便性及び安全性を確保し、機能の充実と長寿命化を図るため、所要の整備を計画的に行っていく必要がある。</p> <p>(移住・定住促進等対策事業) 移住相談は増加しているが、移住関連サイトの閲覧者数が減少していることから、内容の見直し等を行う必要がある。</p> <p>(婚活支援団体育成事業) 婚姻数を増やすため、婚姻に伴う経済的負担の軽減を図る必要がある。</p> <p>(市民憲章推進事業) 市民憲章運動をより浸透させる必要があることから、各地域での推進大会の開催を実施し、事業の内容について市民に周知するとともに普及啓発を継続して行う必要がある。</p> <p>(コミュニティ助成事業推進事業) コミュニティ助成事業による支援を受けようとする団体に対し、申請にかかる支援を行い、地域における活発なコミュニティ活動が図られるよう促す必要がある。</p> <p>(定住促進事業) 空き家バンクへの登録件数を増やす必要がある。</p>
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <p>・なし</p>

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・振興センター等の老朽化が進んでいることから、利便性及び安全性の確保と長寿命化を図るため、老朽度に応じた適切かつ計画的な改修を行っていく必要がある。</li> <li>・移住相談件数は増加しているが、移住関連サイトの閲覧者数が減少しているため、閲覧者数の増加を目指す必要がある。</li> <li>・若者の婚姻に伴う新生活の開始にかかる経済的支援を引き続き行う必要がある。</li> <li>・まちづくり活動の基本的理念である市民憲章をより浸透させる必要があることから、市民憲章推進協議会の活動支援を継続するとともに、活動の内容について市民に周知し、普及啓発を図る必要がある。</li> <li>・コミュニティ助成事業の内容や申請方法について、広く自治会等に周知する必要がある。</li> <li>・移住定住者向けに空き家バンクの登録数を増やす必要がある。</li> </ul>
<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振興センター等の老朽度を調査し、中規模改修の実施時期についての計画を策定する。利便性及び安全性の確保、長寿命化を図り、地域活動の拠点として、多くの市民に利用される施設となるよう機能の充実と改修を進めていく。</li> <li>・移住支援サイトの見直しを行い、移住希望者はもとより、移住に興味・関心を持つ潜在層へ向けた、花巻の魅力を積極的に発信していく。</li> <li>・結婚新生活支援事業補助金の見直しを行い、交付対象者の増加を図る。</li> <li>・市民憲章推進協議会への活動支援を行い、広報はなまきへの啓発記事の掲載などで広く市民に周知する。</li> <li>・コミュニティ助成事業への申請を促すため、補助制度について、広報はなまき等で広く市民に周知し、申請の推奨、申請支援を行っていく。</li> </ul> <p>○ 空き家バンクの登録数を増やすため、相談会の開催や、専用ポータルサイトで制度についてわかりやすい情報発信を行う。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
010	自治公民館整備事業費	地域づくり	一致	直結	B
	自治公民館改修等への支援 (補助金交付件数：9件)				
020	振興センター等整備事業費	地域づくり	一致	直結	-
	建物調査・保全計画書作成業務(花南)、改修工事実施設計業務(湯本)、改修工事(宮野目)、相撲場解体撤去(八重畑)				
030	在京人会運営補助事業費	地域づくり	間接・少数	間接・補完	-
	在京花巻人会、在京石鳥谷人会、在京花巻市東和町友会、在京花巻ふるさと会への運営補助 (総会・つどいの開催：3回、広報誌発行：5回)				
040	移住・定住促進等対策事業費	定住推進	一致	直結	C
	空き家バンクの運用、移住に関する支援情報ホームページによる配信、首都圏でのPR活動の実施 (空き家バンク登録数：317件 成約数：174件 移住フェア等出展回数：3回)				
050	地域おこし促進事業費	定住推進	一致	間接・補完	A
	地域おこし協力隊の募集と着任後のサポート、任期終了後の定住に向けた支援の実施 (着任のべ隊員数：24人、うち年度末現在隊員数：7人、うち年度内着任隊員数：4人)				
060	婚活支援団体育成事業費	定住推進	一致	間接・補完	C
	市内で活動する婚活支援団体が行う取り組みにより成立した婚姻件数に応じた助成金を交付 (交付件数：3件)				
061	婚活支援団体育成事業費	定住推進	一致	間接・補完	C
	婚姻に伴う住宅賃借費用等に対する補助 (結婚新生活支援事業補助金 交付件数28件)				
070	シティプロモーション推進事業費	定住推進	一致	直結	B
	情報サイト「まきまき花巻」による情報発信、市民と連携した情報発信を行うための市民参加型ワークショップ (ワークショップ開催回数：4回 参加者41人)				
080	地域協議会・地域自治推進委員会運営事業費	地域づくり	間接・少数	直結	-
	花巻地域は地域自治推進委員会、大迫・石鳥谷・東和地域は地域協議会を開催 (花巻：2回 大迫：2回 石鳥谷：2回 東和：2回)				
090	地区行政推進事業費	地域づくり	一致	直結	-
	区長業務報償費、広報等配布業務委託、地区行政運営支援、区長業務及び区長会支援 (区長：223名 研修会：0回 広報等印刷物配布回数：23回)				
100	市民憲章推進事業費	地域づくり	一致	間接・補完	-
	市民憲章推進協議会活動支援 (会員数：212人 推進大会参加者：129人)				
110	コミュニティ助成事業推進事業費	地域づくり	一致	直結	B
	(一財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業活用による支援 (申請団体：6団体 採択団体：3団体)				
120	定住促進事業費	定住推進	一致	直結	C
	子育て世帯や空き家バンク利用者が県外から転入し、住宅を取得・賃貸した場合の経費の一部を補助 (定住促進住宅取得等補助金20件 子育て世帯住宅取得奨励金107件 若者世代空き家取得奨励金1件)				
130	地域おこし研究所運営事業費	定住推進	一致	直結	B
	大学等と連携し地域課題の解決に向けた研究・実証 (研究したプロジェクト数：3件)				
140	定住交流センター改修事業	商工労政	一致	直結	-
	定住交流センターの施設機能の維持保全に向けた計画的改修 (LED化、トイレ洋式化改修、防犯カメラ設置：43,568千円)				
150	就労支援事業費(再掲1-6-1)	商工労政	間接・少数	直結	C
	UIJターン者への就業奨励金の就業奨励金の交付を通じ、UIJターンを促進 (UIJターン者就業奨励金を活用して市内に就職したUIJターン者数R3:4名→R4:8名)				
160	地域づくり活動推進事業費(再掲4-1-2)	地域支援	一致	直結	B
	中間支援組織等によるコミュニティ会議へのサポート (中間支援組織：1団体 コミュニティ会議：3団体)				